

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和6年3月14日(木) 午前9時00分～9時40分
場 所	辰野町立辰野図書館2階会議室
出 席 者	委員6名中 6名(事務局:宮澤教育長、福島館長、辰野図書館職員:千田・山村)
会 議 次 第	<p>進行 課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会のことば 2. 教育長あいさつ 3. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度図書館利用状況 2) 令和6年度図書館事業運営・予算 3) その他 4. その他 5. 閉会のことば
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> 3. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度図書館利用状況 2) 令和6年度図書館事業運営・予算 辰野図書館職員から一括説明し、質疑を経てご了承いただく。 3) その他
発 言 者	発言の内容
教 育 長	<p>令和5年度の3回目の図書館協議会になるが、今年度のまとめと来年度の事業等の確認になる。今年度1年間を振り返ると、5月8日にコロナが4類から5類に移行し、図書館の利用状況も大きく変わってきた。昨年までとは違う今年度の状況を理解しながら来年度の方向付けを。</p> <p>漫画家の鳥山明さんが亡くなった。私も知らなかったが、世界中に多くのファンがいる。アメリカやフランス、中国でも。中国は国家がコメントを出すほどすごい方だった。漫画やアニメの捉え方は様々あると思う。図書館協議会とは関係ないが、私の子どもの頃は漫画を読むとバカになると言われたことがある。鳥山さんが登場したあたりから、漫画やアニメの見方が変わったように思う。今は若い人たちが知識を漫画やアニメで得る。日本の歴史や世界の歴史など、色々なものが漫画やアニメに描かれていて、それが普通に図書館にも置かれている。時代の流れとして人々の生活様式や価値観、ニーズが変わってきているが、やはり今の社会の中であって、漫画やアニメの存在も欠かせないのではないかと。皆さんは漫画やアニメをどのように捉えているか。</p> <p>私の孫も学校から図書館の本を借りてくるが、たまにアニメで解説をしている歴史の本などを借りてきている。時代はずいぶん変わり、また変わっていかねばいけないと思う。</p>
会 長	<p>教育長さんの方からお話があったが、私もアニメのことを話そうと思っていた。本当に子どもたちには大きな影響を与えてきた世界的である鳥山さん。それからさくらももこさんの漫画の声をやっていた TARAKO さんが亡くなった。アニメに関連した悲しい</p>

	<p>話。もう一つ明るいのは、スタジオジブリの作品がアカデミー賞を取った。アニメに関連して明るい話と暗い話が続いた。私も現役時代図書館の係をやっていた時、アニメや少女向きの小説を導入するか議論したことを思い出した。</p> <p>もう一つは、皆さんご承知のように政治の世界が非常に揺れ、裏金問題のところ。3500万円図書費といい、何を買ったか分からないが、図書館の何年分かもわからないような額を、言い訳だと思うが腹立たしく思った。</p> <p>色々な問題があるが、図書館としてこれからできること、やらなければいけないことがたくさんあると思う。協議会・事務局、皆さん協力して、いい図書館づくりをしていけたらと思う。</p>
事務局	(1)～(3)を一通り説明)
会長	今の説明に何か質問や意見、感想があれば。
委員 A	講演会の回数は年度によって決まっているか。
事務局	開催するときとしないときがあり、回数は決まっていない。来年度開催できれば。
委員 A	候補者の案は。
事務局	尾野三千代さんに関しては、一昨年度オファーをしたら、オンラインなら OK というお返事だったのでおそらくオンライン。中本昌子さんは松本大学の方なので、できれば来ていただいて。酒井京子さんは昨年お話をさせていただいて、来ていただくことは可能とのこと。日程が合えばこちらに来ていただいてお話していただければと思う。もしかしたら協議会の皆さんにもご協力をお願いするかもしれない。
会長	予算に関して。以前にも説明があったが、色々な物価が値上がりしている状況。全体が厳しい財政の中で大幅に増えることは難しいが、需要費の関係など。本の値段も上がっているが、実感としてどうか。
事務局	まず人件費は、最低賃金が上がっているため増加。消耗品費に関して、新聞は軒並みすべて値上がり。1紙500円ほどの値上がりだが、10紙とっているので大幅に値上がり。雑誌は発行時によって上下があるが、上がっている。トイレットペーパーなど細かいが必要なものが上がっている。例えばブックコートなど本を装備するものがここ2年で何回も価格改定がある。本は確実に上がっている。昔1200円だったものが今は1700円、2000円近くする。一番実感するところ。
会長	<p>場所によっては経費がかさむため、開館日を減らしたり開館時間を短縮したりするなど、利用者にとってマイナスになるような話もある。図書館は必要だと思うので、そのようなことがないようにしていただきたい。</p> <p>自宅での調べ学習で子どもたちはタブレットを活用している。従来の図書館での調べ学習がタブレットでできるようになり、図書館離れを進めてしまったのではないか。やはり調べ学習は本を活用してもらいたいと思う。</p>
教育長	中学生も例えば学級閉鎖をしても、元気な子は家から学校にアクセスして授業をするなど当たり前に使っている。小学生も低学年は毎日ではないが使っている。タブレットで簡単に調べることは、図書館で調べるよりはるかに楽な一方で、よく言われるのが情報の正確さ。最初に出てきた情報をそのまま信じてしまうのも難しいところ。

会 長	従来の図書館で見て調べる、並行してこんな本があるという気づきで幅広い子どもたちが利用する立場にある。調べ学習との兼ね合いをどうするか。そういう意味では図書館からのアピールも。
委 員 B	調べ学習は教科によって、社会科の単元によってその時期だけ、どの先生も図書館に来る。タブレットを持ってくる子と、本も併用してみる子という感じ。それ以外は細々したものがある。頻繁ではないが、タブレットで調べるが、図書館で調べたいという子が何人かいるのでお願いしたいという形もある。2・3年生はそんな感じだが、1年生はあまりない。タブレットをものすごく使い慣れているので、今後は減ってくるという不安もある。
委 員 A	メディアリテラシーというか、そういう教育はやってはいるのか。
教 育 長	やっている。
委 員 A	何かを調べたときに、情報源として根拠になるもの。この本で紹介されていたなど、最終的には本だという認識ができればいいと思う。例えば、調べてダウンロードしたとしても、参考資料などを常に提示できるシステムができればいいと思う。
教 育 長	学校教育にもそれこそ全教科ではないが、デジタル教科書が入り始めている。町内の小・中学校では数学・算数・英語。今後は社会や理科もデジタル教科書になっていくのかも。今子どもたちが使っている紙の教科書にも QR コードがついていて、読み込むと次々に資料が出てくる状況。昔は資料集があったが、今は無い。ただ全てデジタルになることは子どもたちにとって良いことか。やはり紙のほうが、と思うが考え方が古いのか。
会 長	私も自分の子どもが大人になり、今の子どもたちが何を使って勉強しているのかが分からない。機会があれば勉強してみたい。
委 員 C	私はどちらかというと、読書嫌いでした。今までの話のなかで感じるのは、何かやりたい、作りたいという好奇心が起こったとき。誰かに聞いてこういうのあるとか、こういうの見たらよいかと言われて見てみると、そういうことが書いてあるのだというのを初めて知るときの喜びは大きい。喜びを知ると、今度は違ったところを聞きたい、他の物を作りたいと思ったとき。それこそ多分ネットに載ってても、使いこなせるような話でもない。調べることは本当は楽しいこと、何かやろうと思ったときに調べるのが楽しみに思えるような。やはりこれから今でいうその先も、創作をする人たちというのは何か違った視点で物を書いたり作ったり、イメージーションを働かしてる。そのような機会があっても面白いと思う。図書館の中でも必要になってくる気がした。
委 員 B	調べ学習に関して。調べ学習はとても時間がかかる。小学校でも予定の時間よりもくってしまう。中学は時間が限られていて難しい。一度子どもについて教室に入ったときに、社会の先生が調べ学習していた。これについて調べなさいと言ったときに、ネットも使っているがあまり突っ込んだものではない。本当に簡単なという言い方も変だが、そういうものが多い。一度にみんなでやって、先生の提示したページのところに1人1人の名簿順の番号で記入されていくという状態。 国語の先生がおっしゃったのは、四字熟語を調べたいが図書館の本ではクラス全員

	<p>は難しい。だから図書館で調べる子とタブレットで調べる子と。四字熟語ぐらいなら大丈夫かなという程度。先生方も授業時間の中で、子どもにやり取りをさせたり、効率を考えたりしている。突っ込んだことを知りたい子もたまにいるが、そういう子が本で調べるという現状。</p>
委員 D	<p>保育園は移動図書にきてもらっている。先日ちょうど私も立ち会い、保育園がそうなのか時代がそうなのか分からないが、借りずに帰る子が結構いる。時間がないとか、園のルールとして、前回の本を返してから借りる、本を大事にしてほしいので袋を持って借りるなど、ルールによってしょうがないところもあるが、借りずに帰る家庭が以前より多い。管理しきれない家庭もある。実際子どもが小さすぎて本を痛めてしまったことも何回かある。余裕がない家庭もある。でも常に楽しみにしている子もいるので、極端になっている。</p> <p>平日のイベントの参加者が減少しているのは、そうだろうと思う。未満児の入園がととも増えている。今保育園の未満児も 40 人ほど。昔も多かったが、未満児から入園する子が多く、子どもとして人数的にすごく減っている。</p> <p>図書館とは関係ないが、町の事業で、興味がある親子が参加する「おひさま教室」がある。対象は2歳児だが、町内の2歳児のほとんどが保育園に入っているので、来年度の該当者が10人ほど。1クール8人ほどで年間3クール用意するが、全員呼んでも1・2クールで終わってしまう。クールを減らしたり、対象年齢を低くしたり、考えてやっている。やはりそういう状態が、昼間に親子で図書館に来ることが減ってしまう。平日のイベントはやめたほうが良いというわけではない。多分必要な方もいるので。</p>
委員 E	<p>先ほどお話もあったが、おはなしのへややえほんのへやはここ1年で極端に参加者が減った。ちびっこ愛らんでも月1回読み聞かせをしている。町外の方も来られたり、小さい子たちが友だちを誘って参加してくれるので、人数的にはコンスタントにできているが、今後は考えないといけない。</p> <p>前回の協議会で教育長さんからお話があった、子どもたちの読者に関する意欲が全国平均よりも上であるということ。もちろん先生方の努力もあるが、その一環を少しは読書ボランティアも担っていると思う。次回の講座でボランティアの皆さんにそれをお伝えできれば。</p>
会長	<p>最後ですが、いつも新聞を見ていると、図書館の職員の皆さんにご協力いただいて、本の紹介をしていただいている。せっかく新聞社の方もいらっしゃるのです。できれば色つきで綺麗な表紙を掲載していただきたいと思う。</p> <p>その他に何か。(無)</p> <p>それでは以上で協議の方を終わらせていただきます。</p>

閉 会